

### 〔学部企画報告〕 ベルリンの壁崩壊から 25年 ― 『東ドイツはどう変わったか?』

山根, 恵子

---

(出版者 / Publisher)

法政大学国際文化学部

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

異文化 / 異文化

(巻 / Volume)

16

(開始ページ / Start Page)

278

(終了ページ / End Page)

280

(発行年 / Year)

2015-04

[学部企画報告]

## — ベルリンの壁崩壊から 25 年 — 『東ドイツはどう変わったか?』

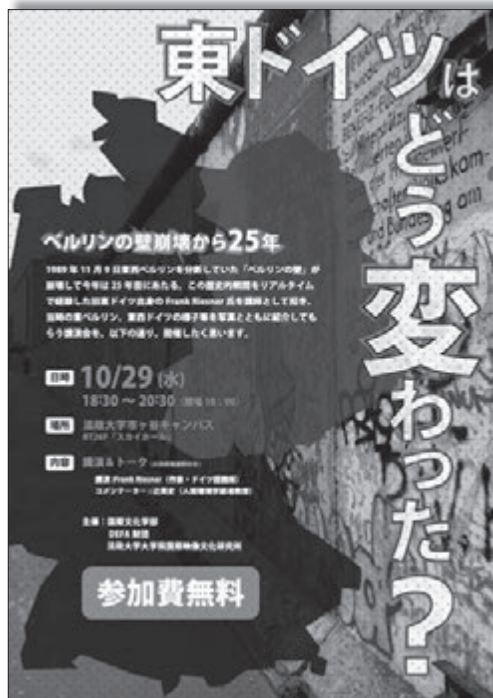
山根 恵子

1989年11月9日、第2次大戦後26年間にわたりベルリン市を東西2つに分断していた「ベルリンの壁」が崩壊して、今年が25年目にあたる。

この歴史的瞬間をリアルタイムで経験した旧東ドイツ出身の Frank Riesner (フランク・リースナー) 氏を講師として招き、当時の東ベルリン、東西ドイツの様子等を写真とともに紹介してもらう講演とトークの会を、下記の通り開催した。

また、本学人間環境学部の辻英史准教授により、戦後ドイツが東西に分断され、1961年8月に突如ベルリンに壁が建設されることになった経緯や、旧東ドイツの政治的状況等についてレクチャーしていただき、後半には Riesner 氏とのトークを行なった。

参加者数は約50名で余り多くなかったが、中にはドイツ史の専門家や高校教員も来られていて、質問の内容も大変興味深く、非常に有意義なプログラムとなった。



- 
- 日時：2014年10月29日（水）18：30～20：50
  - 場所：市ヶ谷キャンパスBT26階「スカイホール」
  - プログラム：講演とトーク（日独逐語通訳付き）
  - ゲスト：①講演 Frank Riesner（作家・ドイツ語講師）  
②コメンテーター 辻英史（人間環境学部准教授）
  - 主催：法政大学国際文化学部、法政大学大学院国際映像文化研究所
  - 参加費：無料
- 

Frank Riesner（フランク・リースナー）

1965年、東ドイツのゲンティーン（ザクセン・アンハルト州）生まれ。

1990年、マグデブルク工科大学卒業。

千葉大学等のドイツ語講師。2009～10年、NHK「テレビでドイツ語」

で東ドイツの紹介者としてレギュラー出演。主な著書に『会話で覚えるドイツ語 777』、『ドイツ語が分かるリスニング』、『私は東ドイツに生まれた一壁の向こうの日常生活』がある。現在は、東ドイツの伝統、生活、娯楽等についての講演も行う。

辻 英史 (つじ ひでたか)

1971 年生まれ。

1997-2000 年、DAAD 給費留学生としてジーゲン、ミュンヘンに留学。

東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了、博士（学術）。

現在、法政大学人間環境学部准教授、専攻は近現代ドイツ史。